

洲本城の見どころ

↑ > 洲本城の見どころ

以下に、洲本城の見所をご説明いたします。なお、詳細をクリックすることで、洲本城のそれぞれの見所を、地図と合わせてくわしくご覧になることができます。大きな写真も掲載していますので、洲本城史跡散策の参考にどうぞ。

淡路島 三熊山 洲本城 みどころ紹介

洲本城史跡みどころ案内図



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/大手門/>) >>



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/二段積み石垣/>) >>



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/馬屋郭から、紀淡海峡をのぞむ/>) >>



⑤ 日月の池 (じつげつのいけ)

谷地の湧き水を、石垣を築いていけにしている。また、近くには井戸もある。山城としての生命線であった水はここら得ていた。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/日月の池%ef%bc%88じつげつのいけ%ef%bc%89/>) >>

⑥ 洲本城で最も古い石垣

大阪湾、紀淡海峡が広く見渡せる石垣。洲本城では、もっとも古い石垣である。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/洲本城で最も古い石垣/>) >>

⑦ 洲本城東部第一線の石垣

文禄・慶長初期の石垣で、高く、長く築かれている。



⑧ シノギ角 (すみ)

石垣の隅角が直角ではなく、鈍角のものをシノギ角とよぶ。これは、古い石垣の構築法である。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/シノギ角%ef%bc%88すみ%ef%bc%89/>) >>

⑨ 東一の門

武者溜の東端部にある。この門をくぐると城内に入ることとなる。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/東一の門/>) >>

⑩ 本丸への大石段

本丸南の虎口へとつうじる、広く大きいつくりの石段。洲本城の威風を感じることができる。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸への大石段/>) >>

⑪ 本丸南の虎口

大きな柱を受けた石が残っており、ここにはかつて南文な門が作られていたのであろうことを伺わせる。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸南の虎口/>) >>

⑫ 本丸

城の中心部で、北側には大天守と小天守の天守台がある。かつては、ここに建築された天守閣を、城下の人々が仰いでいたのだらう。



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸/>) >>



⑬ 天守より見る眺望
城下のみならず、海上を一望できる。かつては水軍の拠りとして築かれた洲本城ならでではあろう眺めは、現在、洲本八景の一つとして数えられている。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/天守より見る眺望/>) >>



⑭ 本丸北の虎口
本丸南の虎口同様、堅固な門を支えていたであろう礎石が相対するように残されている。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸北の虎口/>) >>



⑮ 鏡石 (かがみいし)
敵兵を威圧し、本丸を守るための石。鏡は邪悪なものを退ける力がある、とされることから、重要な北の虎口に鏡石を配置したのだろう。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/鏡石%ef%bc%88かがみいし%ef%bc%89/>) >>



⑯ 天守台の南西の隅角部
関が原の戦いの後の改築と思われる。算木 (さんぎ) 積みとよばれる。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/天守台の南西の隅角部/>)

>>



⑰ 搦手口 (からめてぐち)
本丸近くの、三熊山北斜面の急峻な要害は天守を守る。恐らく、かつてはここが大手口であったと推測されている。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/搦手口%ef%bc%88からめてぐち%ef%bc%89/>)

>>



⑱ 残念石
西の丸へ行く途上、右手に出てくる。洲本城で現在発見されている唯一の残念石。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/残念石/>) >>



⑲ 南の丸
本丸の南側を守る大きな郭。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/南の丸/>) >>



⑳ 本丸台南面の石垣
関が原の戦いの後の増改築であると思われる。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/本丸台南面の石垣/>) >>



詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/芝右衛門狸%ef%bc%88しばえもんだぬき%ef%bc%89の祠/>) >>



八王子木戸
大永6年(1526)、安毛隠岐守治郎が、洲本城を構築の際動進したものの、拒口の戒神社とともに洲本城の鎮守の神社である。祀の神様を祀っているという。巨大な石があり、信仰の対象であったようだ。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/八王子木戸/>) >>



西の登り石垣
登り石垣は、西と東の二箇所存在している。この登り石垣は、全国でもわずか三箇所しか残っていないため、貴重なものである。しかし、保存状態はあまりよくない上に、草木が生い茂っており、ハチやヘビのほか、崩落の危険がある場所でもあるために、現地に確認に行くのであればしっかりと長靴、長袖の装備で行くことをお勧めする。また、三熊山登山道を歩いて登るといくらか確認することもできるので、どうして見たい、という場合はそちらをお勧めする。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/西の登り石垣/>) >>



脇坂安治実母の住居跡
大石段手前に、かつて脇坂安治の実母が住んでいたとされる。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/脇坂安治実母の住居跡/>)

>>



シロミノヤブムラサキ
和名：シロミノヤブムラサキと名づけられた、世界で唯一確認されている木。洲本市の天然記念物でもある。クマズラ科ヤブムラサキの一種で、実は一般的には紫だが、白い実と白い花冠なることからこの名が付いた。。世界中で、この株以外に白実は報告されていない品種。6月上旬に白い花を咲かせ、11月上旬には実も白くなる。

(場所：洲本城本丸から、稻倉～西の丸方面へ進んでゆくと、すぐに現れる。搦手口の側。現在は、貴重なこの植物を保護するため、鉄の柵で周囲を囲っている。)



東の登り石垣
登り石垣は、西と東の二箇所存在している。この登り石垣は、全国でもわずか三箇所しか残っていないため、貴重なものである。しかし、保存状態はあまりよくない上に、草木が生い茂っており、ハチやヘビのほか、東の登り石垣は特に崩落の危険が高いため、実際に見に行くのはお勧めしない。安易に見学に行くと、大怪我する可能性もある場所ということを付け加えておく。

詳細 (<http://sumoto-castle.net/2019/01/01/東の登り石垣/>) >>

